



江の川だより

2024.11
第25号

－みんなで取り組む江の川の流域治水－

■江津市川平町田野地区で堤防用地幅杭打ち式を実施しました

江津市川平町田野地区では、鍛冶屋谷の住家を洪水から守るため輪中堤による治水対策を進めており、この度堤防の設計が概成したことに伴い、堤防用地幅杭の杭打ち式を10月30日に江津市主催により開催されました。この用地幅杭の設置は、事業を進める上での重要な節目となります。地域の皆様に事業の説明を行うとともに、用地幅杭を現地で打設しました。今後用地調査等に着手します。



幅杭を打つ様子

用地幅杭

事業に必要な用地



用地幅杭とは？

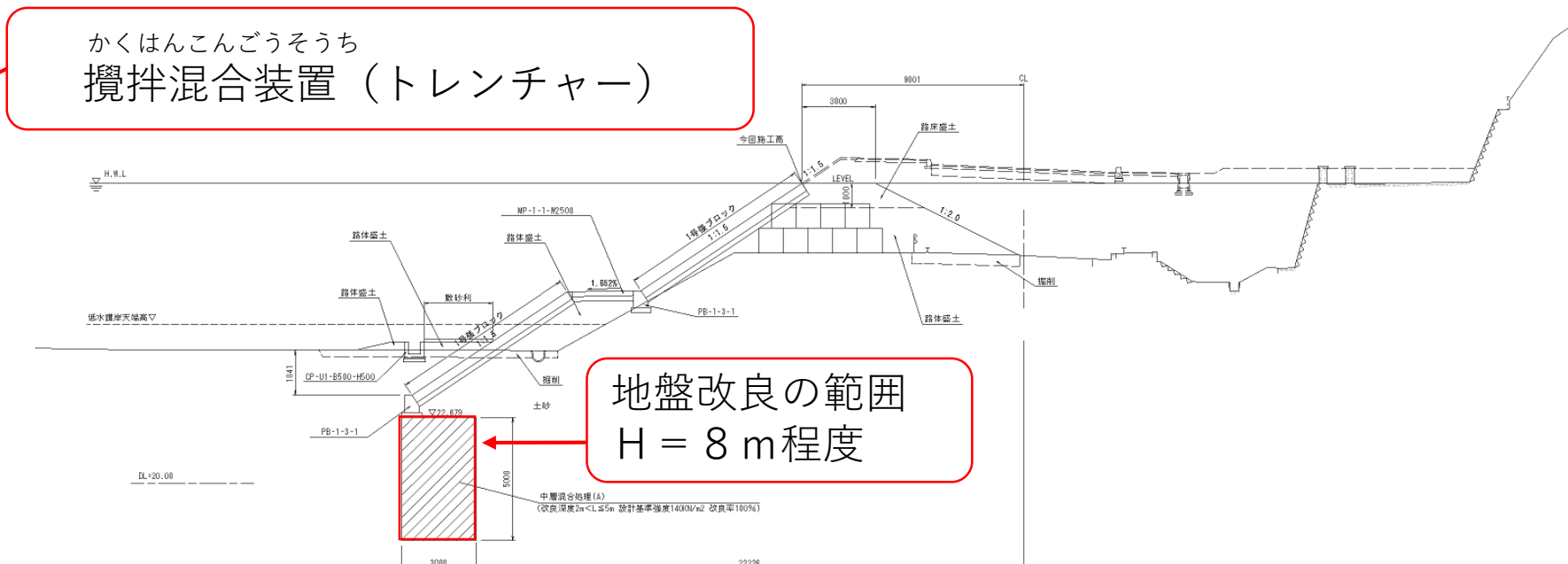
事業に必要な用地の範囲に杭を打って、事業の範囲を明らかにすることだよ！

■川本町瀬尻・久料谷地区 地盤改良を進めています！！

現在、護岸となる箇所では不足している地盤の強度を高めるため、中層混合処理方法としてパワブレンダー工法（スラリー噴射攪拌工法）による軟弱地盤の改良を行っています。パワブレンダー工法は、バックホウに攪拌混合装置を取り付けた「中層混合処理機」を用いて、セメントと水をプラントで混合したもの（セメントスラリー）を地盤に注入すると同時に現位置土を強制的に機械攪拌混合し、地盤を固結し地盤の強度を高めるものです。ICT地盤改良機を用いて、施工位置、セメントスラリー量や攪拌深度を機械的に制御されたシステムで統制することで品質管理に努めています。この工法は、地盤改良が必要な地表面より、約2～10mの土地に適しており、当現場では8m程度の深さまで改良を行うこととしています。



地盤改良範囲イメージ図
NO. 15付近



■江津市田津地区(21k8付近)で約20cmの水位低減効果

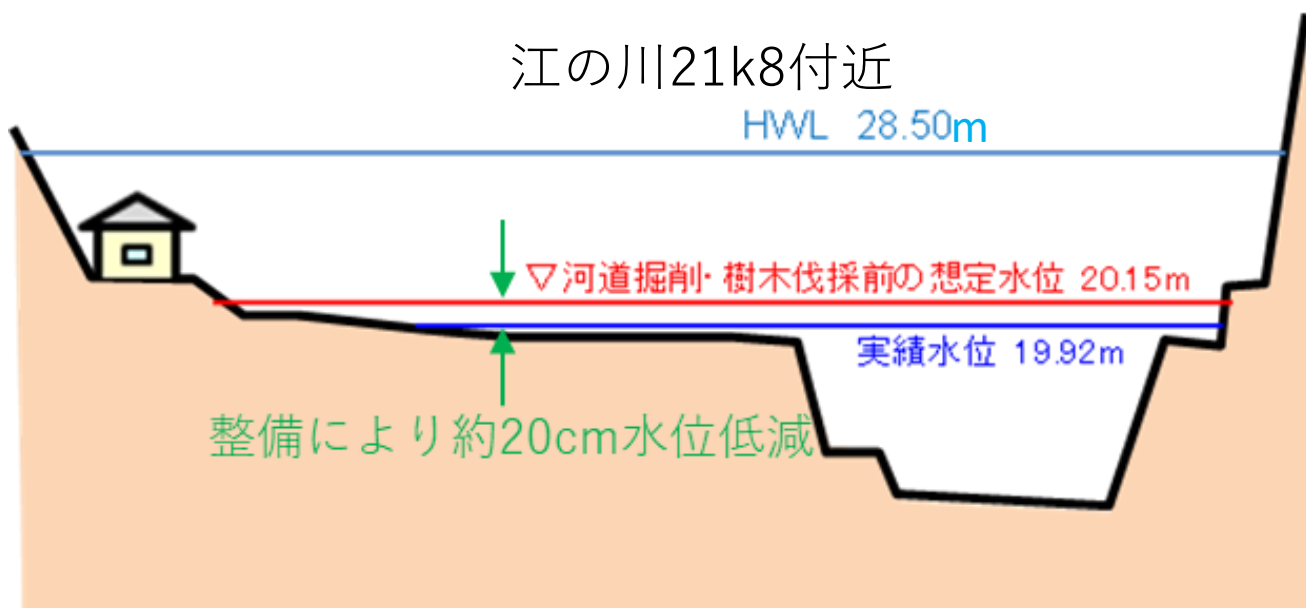
現在、江の川では、「緊急対策特定区間」に設定した重点的な河川整備や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等により河道掘削や樹木伐採を鋭意進めているところです。

先日11月1日～2日かけて、台風第21号から変わった低気圧がもたらした大雨における観測データを基に、事業の現時点における効果について、江津市桜江町田津地区(21k8付近)で水位の検証を行いましたのでご紹介します。

江の川水系流域図



■近年実施した樹木伐採・河道掘削



田津地区より下流の江津市桜江町谷住郷地区や江津市桜江町元折地区で実施した樹木伐採や河道掘削により、今回の実績水位と整備前の想定水位を比較すると約20cmの水位低減効果(21k8付近)がありました。

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

■排水ポンプ車による浸水被害防止・内水被害軽減

浜田河川国道事務所では、江の川沿川の江津市桜江町谷住郷と邑智郡川本町因原に3台の排水ポンプ車を派遣して、浸水被害の防止や内水被害の軽減にあたりました。

排水ポンプ車派遣箇所



○江津市桜江町谷住郷付近
内水排除のため、約14時間稼働させ、約54,000m³(推定)を排水



○邑智郡川本町因原付近
内水排除のため、2台で約22時間20分稼働させ、約84,000m³(推定)を排水

問い合わせ先

〒695-0011 江津市江津町672番地4
江の川流域治水推進室 Tel 0855-54-0377



推進室HP



浜田河川国道事務所X